

健康・医療新産業協議会における検討に向けて

令和2年7月31日
日本商工会議所会頭 三村明夫

- 今回のコロナ禍により、医療が社会経済活動の基礎的インフラであるということが明確となりました。再開した社会経済活動のレベルを極力落とさずに済むよう、検査体制の拡充と医療提供体制の安定化を図ることが急務です。
- 医療提供体制の安定化に向けては、新たな産業を創出することが肝要です。健康・医療産業の裾野は広く、様々なイノベーション、異業種連携の可能性を秘めています。日本のものづくりの強みや、良いものを組み合わせて新しい価値を生み出す強みを、健康・医療産業の分野でも発揮していくことが重要です。
- 一方で、経営者・従業員一人一人の取組みも重要です。コロナ禍により、従業員一人一人の予防・健康づくりの意識は高まりを見せています。経営者が、健康経営をより一層意識し、活力ある産業界を構築していくことが、コロナ対応だけでなく、今後、未知の様々なリスク対応を想定しても、大事な視点となります。
- 人々の予防・健康づくりを、このような会議の場で議論できることは、大変意義深いと考えます。本日の議事には参加できませんが、是非、健康・医療産業の一角を担う産業界を代表して、委員の皆様や関係省庁とタッグを組んで、日本の新しい価値創造を実現していきたいと思っています。

以 上